

平成25年度 福祉用具・アイデアコンクール応募作品集

# 自立・介護へのアプローチ



主催 富山県  
富山県福祉機器開発推進会議  
社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 介護実習・普及センター

# はじめに

「豊かな暮らしを発見し、生活を支援する福祉用具」をテーマに、富山県福祉機器開発推進会議と合同で、福祉用具・アイデアコンクールを開催し、アイデア部門、作品部門、製品開発部門にわけて、福祉用具のアイデアや作品、新しく開発された製品を募集しました。県内の福祉施設、医療機関の皆さんをはじめ、大学・専門学校の学生、高校生の皆さん、そして県内企業から総数105点の応募をいただきました。応募いただいた作品・製品はどれも、高齢者や障がい者の自立支援と介護負担の軽減を図る工夫がされており、心温まる豊かな発想にあふれておりました。

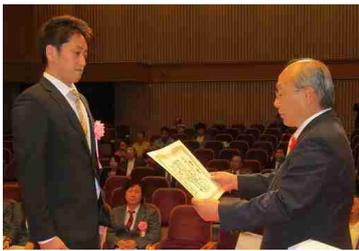
本書は、コンクールで入賞された14点の作品をはじめ、全応募作品について掲載し、家庭や福祉・医療関係の施設などで介護・看護に携わる方だけでなく、多くの方々に、生活に役立つ福祉用具への関心を寄せ、介護について身近に感じていただくために作成いたしました。

おわりに、コンクールを実施するにあたり、企画運営及び審査を賜りました運営委員並びに応募案内や広報にご協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

平成25年12月

富山県介護実習・普及センター

## 第8回富山県福祉機器開発推進大会



アイデアコンクール表彰式



作品紹介



特別講演

松平 浩氏

(関東労災病院 勤労者筋・骨格系疾患研究センター センター長)

「新たな視点に立った21世紀型の腰痛対策  
— 秘訣はこれだけ体操とストレス対策 —」

### 目次

#### 受賞作品

アイデア部門	最優秀賞 (1点) .....	1ページ
	優秀賞 (3点) .....	2ページ
	入賞 (4点) .....	4ページ
作品部門	最優秀賞 (1点) .....	6ページ
	優秀賞 (3点) .....	7ページ
	入賞 (2点) .....	9ページ

製品開発部門 該当なし

応募作品一覧 .....

平成25年度福祉用具・アイデアコンクール実施要綱 ..... 32ページ

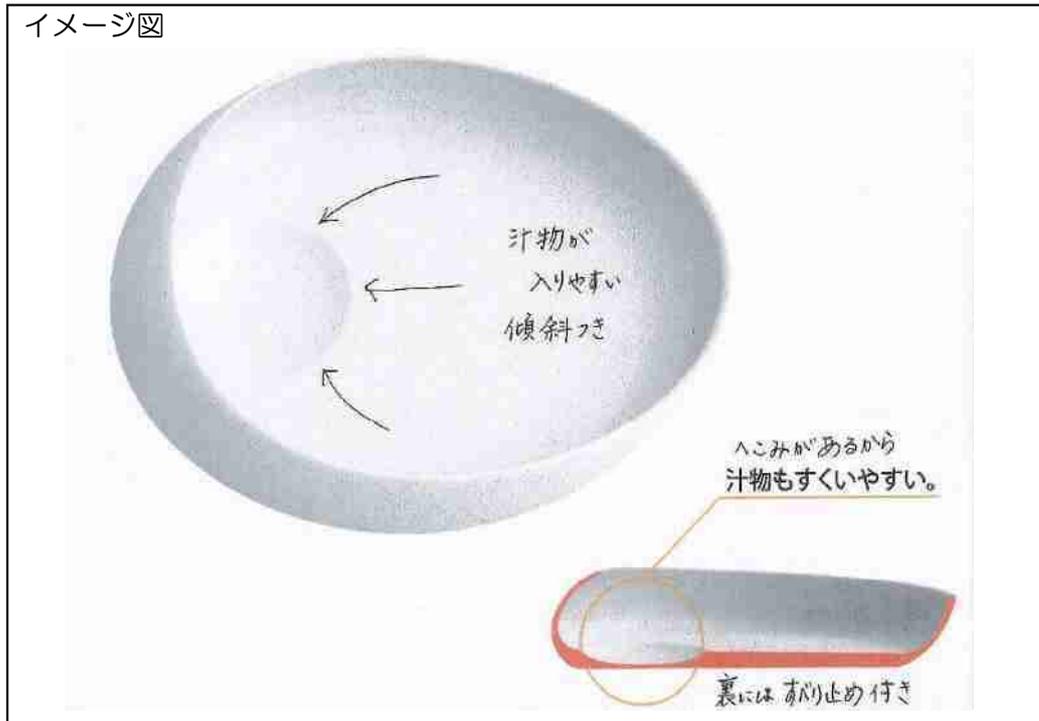
# 受賞作品



アイデア部門  
最優秀賞

作品名 ウィズ スープ  
with soup

出品者 中村 隆志  
【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】



## [用途・特徴]

片麻痺の方が食事をしている時に、味付けのとろみやスープが流れてしまい、食べにくそうだったのを見て、持ち上げなくてもスープも一緒に食べられる福祉用具がないかと思いを考えた。

片方は食べ物が逃げないように深い側面になっており、スプーンですくいやすい。底面はなだらかな傾斜がついており、1段下がった穴の中にスープや餡が入りやすくなっている。スープがかかった食事も、スープと同時に掬えるようになっている。

# 受賞作品



アイデア部門  
優秀賞

作品名 円背でも大丈夫！！

お腹をしめつけ<sup>フィ</sup>ないVぱんつ

出品者 奥原 実咲  
【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】

イメージ図



[用途・特徴]

円背の方が「リハビリパンツのおなかの部分が締め付けられてつらい」と話されていて、その時はパンツの横の部分を切って少し緩めて履いていたが、お腹を締め付けないパンツができないかと考えた。

パンツの横のラインではなく、腹部をV字に切り込んでゆとりを持たせた。あまり深く切り込みを入れてパンツ自体が下がらないよう、切込みラインの深さに気を付ける。

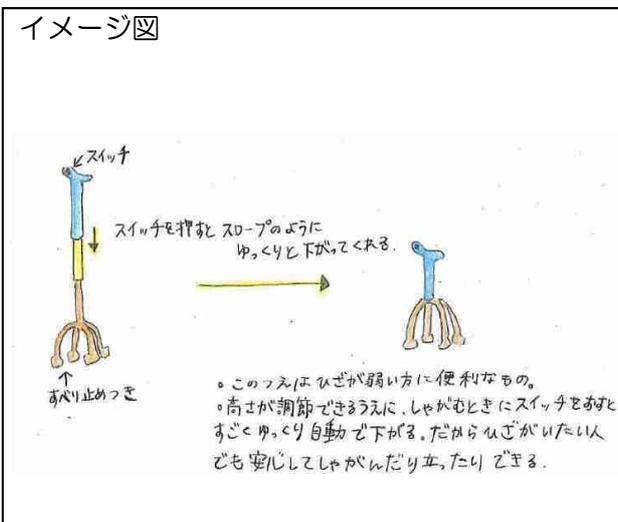


アイデア部門  
優秀賞

作品名 ささえるくん

出品者 新庄 弥佳  
【県立桜井高等学校 生活環境科】

イメージ図



[用途・特徴]

祖母は足が悪く、しゃがむ時にとっても痛むようで、この杖のように自分と一緒に低くなるものがあればいいなと言っていた。

自分がしゃがみたいと思った時にボタンを押すと、杖の持ち手が一緒に下がる。急にはなくゆっくり下がるので、膝の負担も少ない。滑り止めもついているので安全。

# 受賞作品



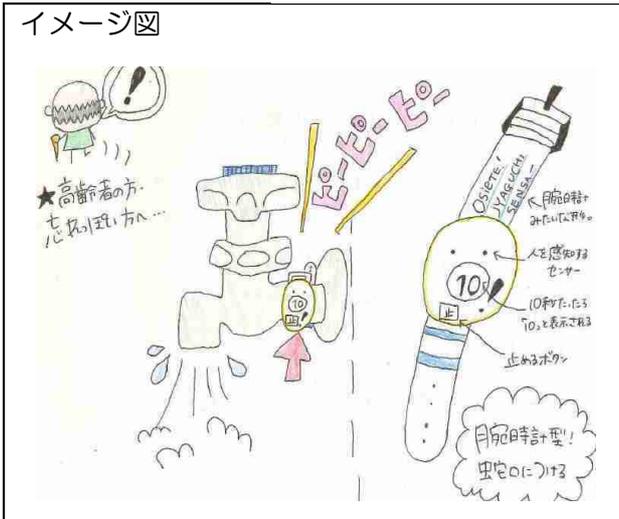
アイデア部門  
優秀賞

作品名 出しっぱ教えて！蛇口センサー

出品者 永田 麗

【県立桜井高等学校 生活環境科】

イメージ図



【用途・特徴】

台所、トイレ、洗面所などでよく蛇口を閉め忘れている光景を見かけた。水がもったいないと思考えた。音で出しっぱなしを教えてくれるものがあればいいと思った。

腕時計型のものを蛇口に取り付け、センサーで人がいなくなったのを認識してから10秒たつと「ピーピーピー」と音が鳴り、出しっぱなしを教えてくれる。止めるボタンを押すと音は止まる。防水機能付きで、高齢者や忘れっぽい人向け。

# 受賞作品

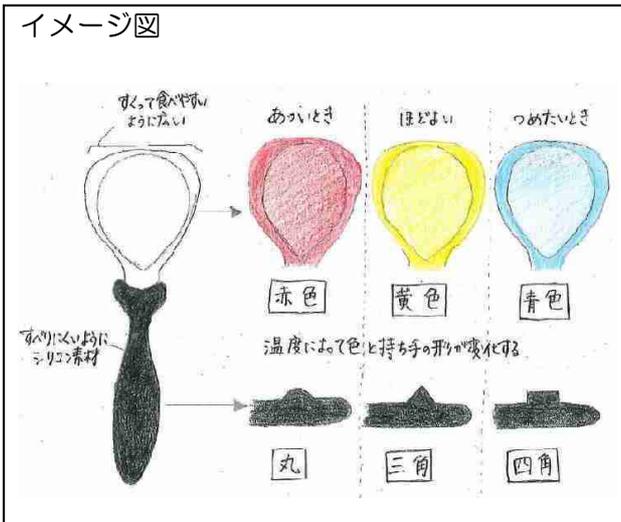


アイデア部門  
入賞

作品名 色と形が変わるスプーン

出品者 遠藤 若菜

【県立富山いずみ高等学校 総合学科】



## 【用途・特徴】

食物の温度がわからないと、火傷の原因になると思った。一目で温度がわかるようにすれば、火傷の可能性や急に冷たいものを食べてびっくりすることも少なくなるのではないかと考えた。

目の不自由な方は見た目でも温度を計ることは困難なので、温度によって持ち手の部分の形が変化するようにし、触っただけで自分の食べようとしている物がどれくらいの温度かわかる。またお年寄りや小さな子供のために色でもわかるようにし、温度によって色が変わり楽しく食事することもできる。



アイデア部門  
入賞

作品名 こぼさず飲めるダブルV “W”

出品者 森井 貴之

【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】



## 【用途・特徴】

通常コップには飲み口がないために、啜る力の弱い高齢者は口角から飲み物がこぼれてしまう。そこで飲み口を作り、こぼれないようにし、傾けた時にも鼻にあたらぬように工夫した。

また、容器を透明にし、中身の飲み物の色や香りも楽しめるようにした。持ち手と滑り止めをつけ、自立に向けた容器にしている。

# 受賞作品



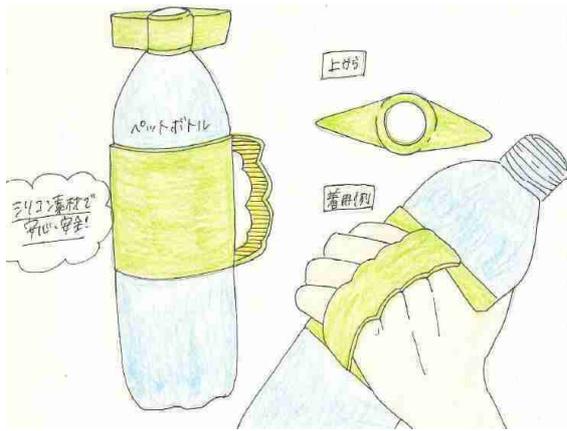
アイデア部門  
入賞

作品名 ペットッテ

出品者 金塚 美佳

【県立桜井高等学校 生活環境科】

イメージ図



【用途・特徴】

中身の入ったペットボトルは重さもあり滑りやすいので、取っ手のようなものがあるといいなと思った。

ペットボトルに装着して使用する。危なくないようシリコン素材で、キャップは開けやすさ、ボトルカバーは持ちやすさを意識した。



アイデア部門  
入賞

作品名 ランプ式チェック表

出品者 細川 栞

【県立富山いずみ高等学校 総合学科】

イメージ図

チェック表

戸締まりした	
電気は消した	
ガスおと火の元	
テレビ	
こたゝ	
忘れ物ない?	

【用途・特徴】

お年寄りになると自分のしたことやこれからすることをつい忘れがちになる。何をしたいのか、何をしなければいけないのか見て分かるようにランプ式のチェック表を作った。

外出する時などに火の元や電気など確認でき、火事などの防止にもつながる。ランプ式にすることで誰でもすぐわかるし、心がけやすい。

## 受賞作品

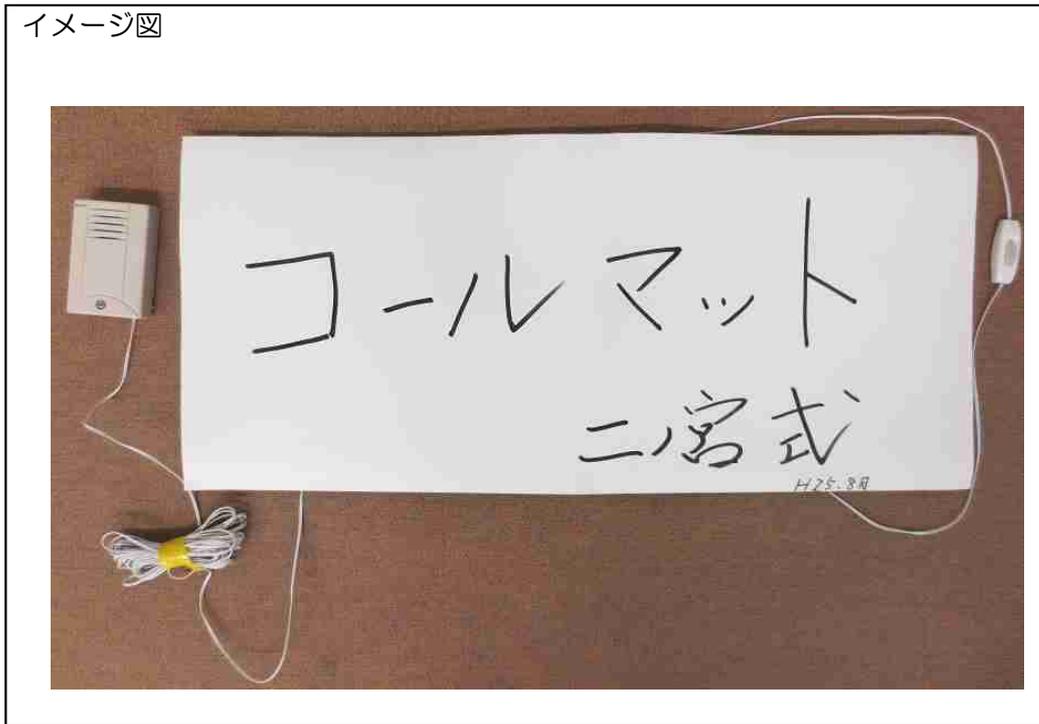


作品部門  
最優秀賞

作品名 簡易コールマット ニノ宮式

出品者 ニノ宮 勝則

イメージ図



### [用途・特徴]

母がベッド上から起きて事故等が多く発生したのが作成するきっかけとなった。

布団1枚でもさわると音が鳴り反応する。どこへでも持っていき使用できる。約700円と安価でできる。

## 受賞作品



作品部門  
優秀賞

作品名 ウロガードカバー

出品者 ウロガード優樹

久郷 しのぶ 金子 亜沙美 山村 優貴  
谷村 実恵 大森 理美

【富山市医師会看護専門学校 准看護学科】

イメージ図



[用途・特徴]

ベッドにぶら下がっているウロガードは、面会に来る人たちの目をひき尿がたまっているウロガードそのものが見えるのは患者さん本人も不快なため、周囲の目からウロガードを隠し、尿臭もカバーするもの考えた。

トートバックを再利用し、手さげ部分を切り離し作った。尿量や性状の確認時はマジックテープで開けることができる。取り外しができるので、洗濯可で清潔を保てる。



作品部門  
優秀賞

作品名 落ちない枕カバー

出品者 清く・正しく・美しいグループ

吉田 真一 水上 里美  
萩原 真澄 北野 好美

【富山市医師会看護専門学校 准看護学科】

イメージ図



[用途・特徴]

ギャッチアップや体位変換時に、枕の位置がずれず定位置を維持するために作った。ベッドの頭側にカバーを取り付け、輪状になっているところに枕を入れる。布を輪状にすることで、横から枕を出し入れできるように工夫した。どんな厚みのマットレスにも取り付けできる。

# 受賞作品



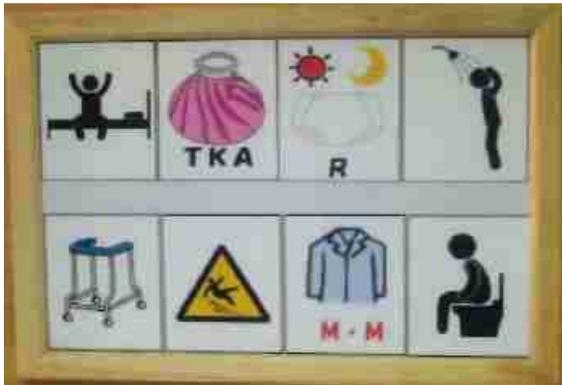
作品部門  
優秀賞

作品名 ADLピクトサイン

出品者 阿部 智子

【富山市医師会看護専門学校 看護学科】

イメージ図



## [用途・特徴]

患者さんの情報が明確にかつ表現の合理化、伝達の簡素化を図るため、誰もが一目でわかる方法はないかと考え、絵や文字を使いボード上で表すことを考えた。事前にカードに必要なADL情報を集め、適宜日勤担当者とりハビリ担当者が相談しながら患者のADLを評価していく。カードはマグネットを使用し、交換しやすく落下の心配もほとんどない。

## 受賞作品



作品部門  
入賞

作品名 小物入れ付き服薬管理表

出品者 小池 道子

【富山市医師会看護専門学校 看護学科】

イメージ図



### 【用途・特徴】

食卓に薬のケースを置いておけば飲み忘れを防ぐのではないかと思い作った。クリアファイルで作った曜日ごとの薬入れに1週間分の内服薬をセットし、突っ張り棒に通し、小物入れについている割り箸の台に乗せる。1日過ぎると前日の分を後ろへめくり、1週間過ぎるとまた内服薬をセットする。

台を小物入れにしたことで、リモコン、メガネ、塩、コショウ等さまざまなものを入れておける。内服薬の部分は取り外し可能なため、持ち運びもできる。つっぱり棒なので棚にも取り付けられる。



作品部門  
入賞

作品名 傾きませんクッション

出品者 岡崎 智恵美

【富山県高志リハビリテーション病院 看護部】

イメージ図



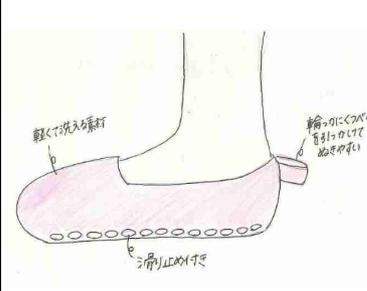
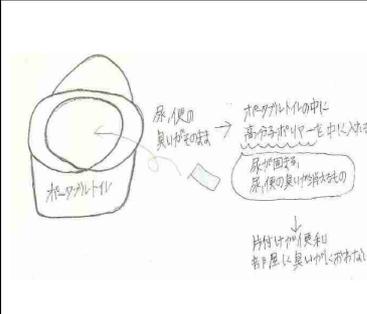
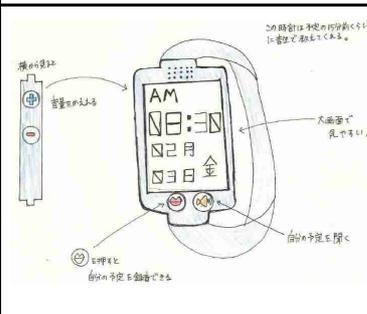
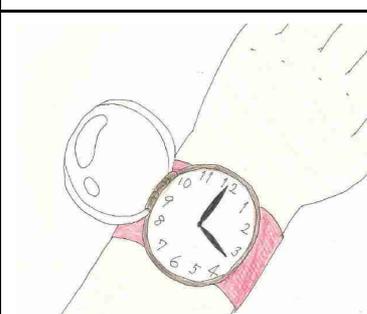
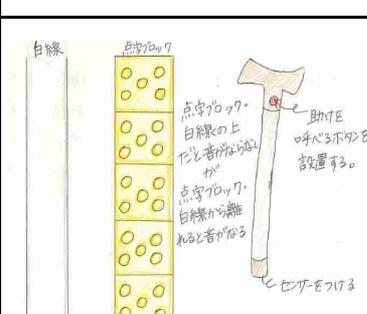
### 【用途・特徴】

片麻痺の方の座位保持の時、麻痺側に傾くため傾かないようにしたいと考えた。また、正しく座位姿勢を保持することにより誤嚥を防ぎ、体の負担を軽減したいと思った。

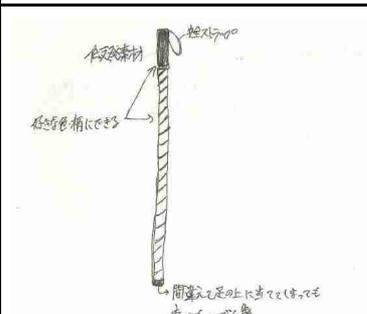
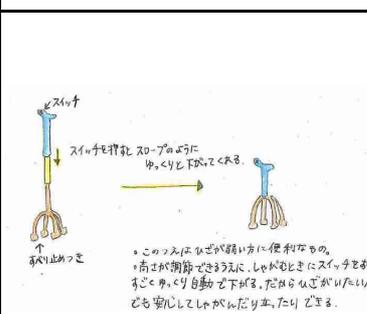
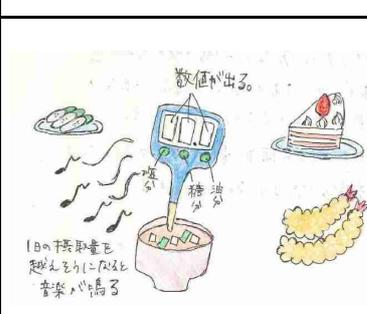
クッション上部を腕にフィットさせるよう凹ませた。ソフトな感触で、麻痺側に挟んでも痛みを感じないようにした。



# アイディア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナル 関連用具	6	<b>着脱楽！安心スリッパ</b> 松倉 桃子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		お年寄りには段差のないところで転びやすく、怪我につながる。さらに普通のスリッパはバカパカして抜けやすく、とても危ない。そこで、足にフィットし滑らないスリッパがあれば安心して履けると思った。 足にフィットして抜けにくく、軽くて洗える素材を使用。下には滑り止めがついている。スリッパに輪っかがついているので、指や靴べらを引っかけると足を抜きやすい。
	7	<b>かたまるくん</b> 廣瀬 望 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母が使っているポータブルトイレは、毎回母が捨てているが、部屋中に臭いが漂ったり片付けに困ったりする。その臭いや片付けの負担をなくすために、尿を固めたり消臭したりして、片付けが簡単になればよいと思った。 高分子ポリマーで固めることにより、臭わない。
	8	<b>物忘れ防止ウォッチ</b> 西田 奈央 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母の物忘れが多くなり、元気がなくなりあまり外出することがなくなった。そこで物忘れを減らすために伝えてくれるものはないかと考えた。腕時計はいつも身に付けているので、自分の音声で認識し、予定を録音できたり聞いたりできる機能を考えた。ボタンが少なく簡単に操作でき、いつ・どこでも使え、持ち運びが楽で、マークがわかりやすいもの考えた。携帯が使えない人でも使え、GPSが付いている場所を確認できる。
	9	<b>虫眼鏡付き腕時計</b> 堀内 ゆかり (県立桜井高等学校 生活環境科)		おじいちゃんが小さい文字などを見るための小さいレンズをいつも使っていたが、度々なくて困っていた。そこで、身に付けるタイプのレンズがあれば良いと思った。 普段は普通の腕時計として使い、小さな文字などを見る時はレンズとして活用できる。
移動機器	10	<b>危険から守るつえ</b> 荒俣 稀 (県立桜井高等学校 生活環境科)		歩道で前から視覚障がいの方が杖で点字ブロックを確かめながら歩いているのを見て、急に目が悪くならたら確かめるのは大変で、危ないと思考えた。 危険なところへ行った場合、センサーが反応して音が鳴る。また、慌てていてすぐに助けを呼べない場合も、ボタンを押すとすぐに周りの人に助けを呼ぶことができる。

# アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	11	マイメロディー 吉島 明日香 (県立桜井高等学校 生活環境科)		視覚障がいの方にとって道を歩く時、点字ブロックは非常に重要だと思うが、杖で点字ブロックを探している方を見て、わかりづらそうな印象を持った。また、周りの人が道をあけやすくしてほしいと思った。 点字ブロックに近づくと、センサーが反応し杖からメロディーが流れる。周りの人もその音楽を聴き、点字ブロックから離れ道をあけてくれる。夜は光るので、周りの人や車からよく見える。
	12	折りたたみポチッと杖 森岡 麻衣 (県立桜井高等学校 生活環境科)		おばあちゃんが外出先で杖をよく忘れ、何度も新しい杖を買っていたのを見て、忘れて何度も買ったりしなくてもよいようにしたいと思った。 杖がいらない時はボタンを押すと手の平サイズになり紐をつけて手にかけておくことができたり、ポケットに入れる事ができたりするサイズになり、忘れるのを防止して持ち運びが楽になる。
	13	おしゃれスティック 有澤 世理佳 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母が入院して杖が必要になって選びに行ったところ、「色が地味で嫌。外に出たくなくなるデザインの杖しかない」と言っていたのを思い出し、好きな色や柄にカスタマイズできる杖があればよいと思えた。 持ち手は低反発素材で持ちやすく、安全ストラップがあるのでうっかり手を離しても安心。好きな色・柄にカスタマイズでき、その場に応じた杖にできて、外出意欲も高まる。
	14	ささえるくん 新庄 弥佳 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母は足が悪く、しゃがむ時にとっても痛むようで、この杖のように自分と一緒に低くなるものがあればいいと言っていた。 自分がしゃがみたいと思った時にボタンを押すと、杖の持ち手が一緒に下がる。急にはなくゆっくり下がるので、膝の負担も少ない。滑り止めもついているので安全。
家事用具	15	計るくん。 相澤 美奈津 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母が高血圧気味なので、塩分の濃度がわかり、1日の摂取量を超えないようにして高血圧予防になればよいと思った。また、糖分や油分も図れるようにして肥満予防にも繋がればよいと思った。 図りたい食品に器械の先端を当てると、塩分・糖分・油分の濃度がわかる。また、1日の摂取量を超えそうになると音楽が流れて知らせてくれる。

# アイデア部門

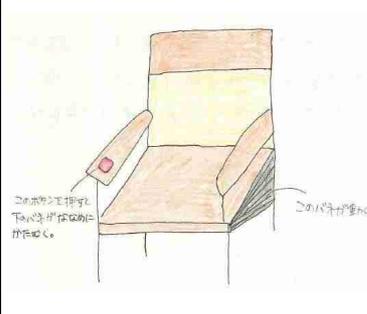
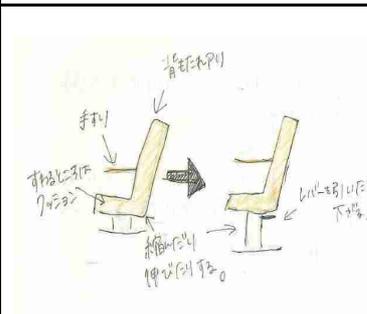
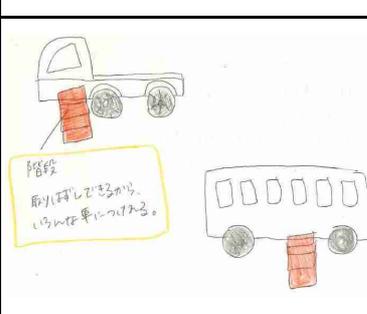
分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	16	指安心のおさえ 宮崎 沙智 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>おばあちゃんが料理している時手が安定せず、震えながら食品を押さえて包丁で切っているのを見て、手を切る危険を感じた。また、私もよく包丁で手を切ってしまうので、防ぐものがあたらよと思った。</p> <p>持ち手はやわらかい素材の粘土で、持ち手と押えの間にガードを作り、手・指が包丁の所まで出ないようにした。</p>
	17	おしらせ冷蔵庫 桐 沙也子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>祖母の物忘れがひどくなり、同じものを買ってくるが多々あり、冷蔵庫のスペースが狭くて使いづらいことがあった。また、母が足りなくなった材料を買いに行く際に扉を開けたまま何分も探したり確認したりして、エネルギーの無駄にもなると思考えた。</p> <p>画面表示と音声で冷蔵庫内に少ないものなどを知らせてくれ、扉を開ける必要がなくエネルギーの無駄を省ける。取り出し可能で、新しく買い替えても再度使うことができる。</p>
	18	のびのびホース君 渡辺 恭子 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		<p>おばあちゃんにカレーライスを作ってもらったとき、水がたくさん入った鍋をコンロまで移動させるのが大変そうだった。もし手が滑って落としたら危ないの、少しでも運ぶ手間を省けたらいいなと思った。</p> <p>鍋を蛇口まで運ぶ必要がなくなり、滑って落とす心配はなく、水の量はホースの先で調節可能。ホースも伸縮自由なのでどれだけ離れていても大丈夫。片付けや置き場所にも困らず、使い方が簡単。</p>
	19	らくらく調味料 まぜあわせ器 長谷川 彩華 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>料理が好きなおばあちゃんが料理をする時に調味料を探すのが大変だと言っていたので考えた。探すのが大変なので、一緒にまとめた。</p> <p>塩とこしょうを入れておけば、塩コショウにできるように容器の中で合わせる事ができる。容器を軽くして高齢の方にも持てるようにし、落としても大丈夫のように蓋と持ち手はシリコン。中の小さい容器自体も取り出せて中身の交換も簡単。</p>
	20	刺して、挟んで クワガタフォーク 濱田 柚 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>実習で高齢の方が麺類を食べにくそうにされているのを見て、もっと簡単に食べる事が出来る道具がないのかと思考えた。また、固くて先のとがった箸やフォークは口を傷つけてしまうため、やわらかく安全なものがよと思った。</p> <p>麻痺などで細かい作業が難しい方が刺したり挟んだりして使う。固すぎず柔らかすぎず、ちょうどよい固さで食べ物を挟むと広がるフォーク。ギザギザの刃先はすべり止めの役目をしている。</p>



# アイデア部門

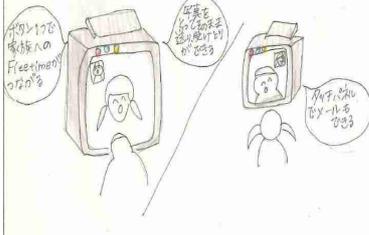
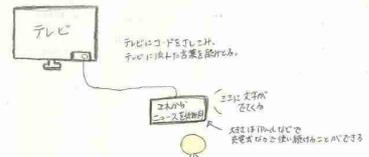
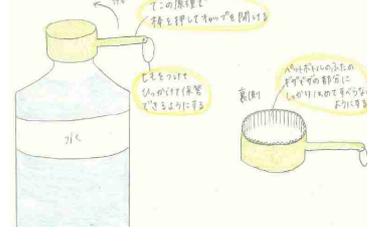
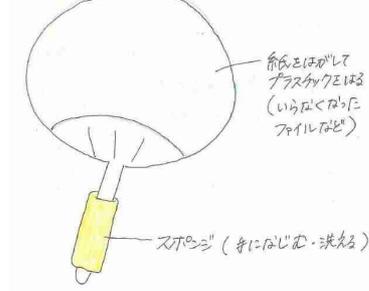
分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	26	<b>熱くない布</b> 伊藤 彩香 (県立桜井高等学校 生活環境科)		先日うっかりアイロンで軽度の火傷をしてしまった。もしかするとお年寄りになると「うっかり」は増えそうだと思う。考えた。また、子供がいれば興味本位でなんでも触るので、アイロンをつけたままにすると火傷の危険がある。 アイロンにかけるだけで、アイロンの熱を感じさせなくする布。使わない時にかけておくと、火傷や火事の心配をしなくて済む。
	27	<b>片手でラクラクハンガー</b> 能登 愛美 (県立桜井高等学校 生活環境科)		洗濯物を干している時に、片手が使えなかったら干すことは困難なのではと思った。また、洋服の首元からハンガーを入れる時に首元が伸びてしまうのを防ごうと思った。 最初は折りたたんでいて、ボタンを押すことによってハンガーが開き、簡単に洋服をかける事が出来る。もう1度ボタンを押すと、今度は開いたハンガーをまた折りたたむことができる。干す時も取り込むときもとても便利。
	28	<b>らくらく洗濯</b> 貫場 美穂 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		祖母が洗濯物を干す時や取り込む時、かける棒が高く、大変そうだった。腰が痛い方、歩きにくい方でも不便を感じず体に負担をかけないで洗濯物を干すことができるかと思い考えた。 洗濯物をかける時はロープを緩めて低くし、干し終わるとロープをはり、高くなる。取り込むときには再びロープを緩め、乾いた洗濯物がロープの中央に集まり下にかごを置くと、すぐに取り込むことができる。操作ボタンを押すだけであまり動くことなく早く終わることができる。
家具・建具、建築設備	29	<b>好みで変えられるdesk</b> 金澤 侑加 (県立桜井高等学校 生活環境科)		机は平行よりも斜めの方が楽だと思うことがあったので考えた。 机の角度、高さが変えられるようになっていて、同じ机を年齢問わず誰でも使える。すべりおちない素材で作るので、斜めにしても物が落ちない。
	30	<b>快眠!! 目覚ましクッション</b> 上里 ともよ (県立桜井高等学校 生活環境科)		夜行バスで寝るときに、首が痛くなるので考えた。たまに電車などでも寝過ごしている人がいるので、目覚ましが付いていると良いと思った。 バスで寝ていても首が痛くならず、起きたい時刻を設定するとパイプで起こしてくれる。

# アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家具・建具、 建築設備	31	<b>Stand up☆ chair</b> 岩城 夏未 (県立桜井高等学校 生活 環境科)		祖母が椅子から立ち上がる時に「よっこいしょ」と掛け声をかけて勢いをつけて立ち上がろうとしているのを見て、少しでも立ち上がる動作を楽にできないかと考えた。 立ち上がろうと思ったとき、肘かけの所にあるボタンを押すと、座面の下にあるバネが斜めに持ち上がってきて、座面がその人が一番力を入れやすい角度になり、立ち上がるのが楽になる。
	32	<b>ラクラクchair</b> 太田 帆乃花 (県立桜井高等学校 生活 環境科)		施設を訪問した時、足腰の悪いおじいちゃん、おばあちゃんは立つのも困難で辛そうだった。そこで、椅子に座りながら体に苦痛を与えることなく移動できるように考えた。 肘置きについているボタンを押すだけで、背もたれが自動で動いたり座った人の行きたい方向へ行ったりできる。また、足腰にも負担がかからないように背もたれ、座面はふわふわの素材にする。
	33	<b>上げ下げ楽ちんチェア</b> 山本 優華 (県立桜井高等学校 生活 環境科)		祖母が手足が悪く、立ったり座ったりするときにしりもちをつくことがあり、危ないと感じたため、安全に立ったり座ったりできるものはないかと考えた。子供の勉強机の椅子のように、引けば下がるという設定だが、回転はしない。肘置きがついていて、座るところはクッションでお尻が痛くならない。一番下がった状態では、床に近いところまで下がり、普通に床に座っているような感じ。
	34	<b>まきとるくん</b> 森丘 紗也加 (県立桜井高等学校 生活 環境科)		おばあちゃんが毎日水やりをする時にしゃがんで蛇口を開け閉めしたり、ホースを巻き取っているのを見て、もっと手軽にできたらよいと思った。 壁にホースを巻き取る物が付いていて、蛇口も開閉しやすい高さについている。ペダルを踏むことで簡単に巻き取れ、しゃがまなくてよい。
	35	<b>ラクラク乗車</b> 舟川 彩子 (県立桜井高等学校 生活 環境科)		おじいちゃんは元気で車の運転をよくしている。しかし軽トラックなので、車体が高く、乗るのが辛そう。そこで考えた。 戸をあけてからイスの所にあるボタンを押すと、しっかりして上りやすい階段が出てくる。またボタンを押すと収納される。ボタンだから操作が簡単。



# アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
コミュニケーション 関連用具	41	<b>つながりちゃん</b> 浅田 里奈 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>祖父母が遠いところで暮らしていて、電話や手紙などで連絡をしているがなかなか顔を合わせたり写真を送ったりすることはない。機械の操作が困難でメールや写メ、Face timeで連絡できないので、簡単につながれるものがあるとよいと思い考えた。</p> <p>ボタンを押すだけで決まった相手にテレビ電話がつながり、写メをFAXとして送られ、メールも送ることができる。</p>
	42	<b>読みとれ君!</b> 二田 奈々子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>祖父は耳が遠いので、テレビなどの音はいつも大きくなる。私たちくらいの年齢の人にも聞き取りやすくなると、皆で過ごすことが多くなるのではないかと考えた。</p> <p>普通のテレビにコードをさし、手元にあるiPadなどに文字が出てくる。コードをさしてもテレビの音を止めるわけではないので、他の人もテレビを見る事ができる。文字で出てくるため、しっかりと相手に伝える事ができる。</p>
	43	<b>キモチよみとりちゃん</b> 水島 明音 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>テレビで小さい子供が、声が出なくなり、まだ手話や指文字を覚えていないため難しそうな機械を使い話す練習をしているのを見た。そこで気持ちを言葉にするのが難しい障がいを持った方が、みんなと楽しくスムーズに会話できるようになったらと思い考えた。</p> <p>絵本に見立てた画面に、本人の気持ちを表す。さらに外観を本人に似せて作ることが出来たり、衣服・髪型を変えたりと機能面だけでなく様々な面で楽しむことができる。</p>
操作用具	44	<b>らくにあけーる</b> 田澤 朋 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		<p>祖母の握力や筋肉が落ち、最近よくペットボトルの蓋を開けると言われるようになった。最初に自分で挑戦してから頼んでくる祖母を見て、何とかしたいと考えた。</p> <p>力の弱い高齢者だけでなく、子供も楽に蓋を開ける事が出来る。</p>
環境改善機器・作業用具	45	<b>どこでも使えるうちわ</b> 永田 優紀 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>夏の暑い時期にもシャワーだけでなくお風呂にゆっくり浸かりたいといていたおばあちゃんのお意見を参考に、お風呂で使えるうちわがあればおぼせるのを防止できると思った。</p> <p>紙をはがしてプラスチック(いらなくなったファイルなど)を貼り、水にぬれても大丈夫で、透明だけでなく、色つきや柄つきのファイルを使えばより一層季節感や愛着がわく。持ち手はスポンジなので、手になじみ、洗うこともできる。</p>



## アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴												
その他	51	ランプ式チェック表 細川 葉 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)	<p>火の元表 </p> <table border="1"> <tr> <td>戸締まりした</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気は消した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスおこし火の元</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふた?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>忘れ物ない?</td> <td></td> </tr> </table>	戸締まりした		電気は消した		ガスおこし火の元		テレビ		ふた?		忘れ物ない?		<p>お年寄りになると自分のしたことやこれからすることをつい忘れがちになる。何をしたいのか、何をしなければいけないのか見て分かるようにランプ式のチェック表を作った。</p> <p>外出する時などに火の元や電気など確認でき、火事などの防止にもつながる。ランプ式にすることで誰でもすぐわかるし、心がけやすい。</p>
戸締まりした																
電気は消した																
ガスおこし火の元																
テレビ																
ふた?																
忘れ物ない?																

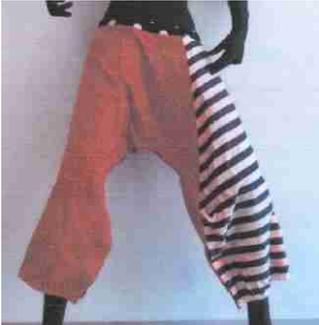
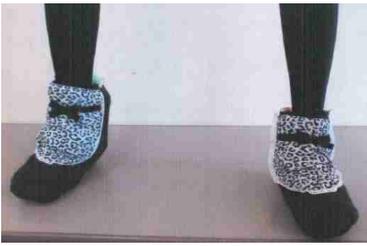
## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
治療 関連 用具	1	<b>小物入れ付き 服薬管理表</b> 小池 道子 (富山市医師会看護専門 学校 看護学科)		食卓に薬のケースを置いておけば飲み忘れを防ぐのではないかと思い作った。クリアファイルで作った曜日ごとの薬入れに1週間分の内服薬をセットし、突っ張り棒に通し、小物入れについている割り箸の台に乗せる。1日過ぎると前日の分を後ろへめくり、1週間過ぎるとまた内服薬をセットする。 台を小物入れにしたことで、リモコン、メガネ、塩、コショウ等さまざまなものを入れておける。内服薬の部分は取り外し可能なため、持ち運びもできる。つっぱり棒なので棚にも取りつけられる。
	2	<b>1人で目薬させるもん</b> スイカ 島倉 紗織 山崎 睦子 米谷 美保子 松 祐二 石若 莉紗 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		手が震えて上手く点眼できない方がいたり、自分自身が点眼が得意ではなかったりするので、何か簡単にできる方法はないかと考えた。力がなくても点眼できる。 目薬を割り箸に固定し、トイレットペーパーの芯を半分に取り、目薬を芯の中に入れて固定して作った。箸を手で持って点眼する。
	3	<b>フィンガー ローリングゲーム</b> 二ノ宮 勝則		片麻痺の方などの指や手を使ったリハビリ、脳の活性化の目的で作成した。両手または片手で持ち、左右に回転させながら色違いのビー玉（10個入）を色分けする。
パーソナル ケア 関連 用具	4	<b>ウロガードカバー</b> ウロガード優樹 久郷 しのぶ 金子 亜沙美 山村 優貴 谷村 実恵 大森 理美 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		ベッドにぶら下がっているウロガードは、面会に来る人たちの目をひき尿がたまっているウロガードそのものが見えるのは患者さん本人も不快なため、周囲の目からウロガードを隠し、尿臭もカバーするもの考えた。 トートバックを再利用し、手さげ部分を切り離し作った。尿量や性状の確認時はマジックテープで開けることができる。取り外しができるので、洗濯可で清潔を保てる。
	5	<b>くまさん こんにちは！！ カーディガンからの クローズに大変身</b> あみでいー♡ 大橋 彩夏 岡元 愛 億 美里 竹内 彩花 塚原 瑞穂 (富山短期大学 福祉学科)		左片麻痺の方でも簡単に着る事ができるものを作った。前身ごろを切り開き、右肩に紐、右に手作りの可愛いくまさんボタン、左下にポケットをつけ、前身ごろに白い布をつける。左腕を通し、右手を使い右肩についている紐をつかみ回して着る。着やすいように伸縮性のある生地を用いた。ボタンをとめて着たり、はずして着たりできる。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	6	<b>らくパン</b> AOI48 美濃 葵 高道 美希 水野 朱南 森 春香 (富山短期大学 福祉学科)		手の力が弱い方や立位が難しい方も簡単にズボンをはけるように作った。ズボンの左右を縫い目に沿って上から約50cm切断し、ファスナーを合わせて縫った。ファスナーは目立たないものにし、赤い糸を使いオシャレにした。着脱の際に、何度も立位や座位をとらずに左右のファスナーの上げ下げのみで着脱が可能。
	7	<b>チャック・脱・トレーナー</b> (着脱トレーナー) 男組 矢野 英和 中川 俊信 赤井 剛 岡野 拳弥 島崎 平 (富山短期大学 福祉学科)		清拭の際、衣服を脱がさずに腕を拭くことができるように、腕部をファスナー開閉にして着脱可能にした。 長袖トレーナーの肩から腕の部分をきれいに切断し、ファスナーを断面に縫い付けた。ファスナーの開閉により、衣服の腕部開閉を楽に素早く行う。
	8	<b>マイ ドレス コード</b> メローネ 網 彩音 新田 千秋 中尾 綾 浦野 美美佳 藤岡 美桜 中谷 朋美 南保 亜由美 六平 理恵子 (富山短期大学 福祉学科)		体が不自由でもおしゃれを楽しみながらいきいきと暮らして頂きたいと思い、病院へ診察に行く時の外出着を兼ね、診察中のプライバシーに配慮した安心着を作った。ベストは普段はループで装着し、診察時にはマグネットボタンで装着し、着脱を安楽にスピーディーに行う。スカーフは、保冷剤、使い捨てカイロを入れるポケットがあり熱中症、冷えに対応している。冷えすぎや低温やけどに配慮しながらオシャレを楽しむ。アームカバーは腕の太さに対応できるニットを使用し、袖口は綿100%で汗拭きに対応できる。
	9	<b>おしりスッポリズボン</b> アイスクリーム 大久保 瑛美 中島 彩 中村 碧 薮下 萌 (富山短期大学 福祉学科)		対麻痺の方は着脱の時体力がいり、難しいことがわかり、1人で簡単に着脱できるズボンがあったらいいと思い作った。ズボンの前側の左右を切り、ファスナーを縫い付けてファスナーにキーホルダーをつける、ズボンについていた紐を抜き、切った部分の上に縫い付ける。手の拘縮があってもファスナーがスムーズにあげられるよう持ち手を大きくした。 ファスナーを開いて置き、ズボンのおしりの部分に座り、足をいれてお腹のところの紐をしぼり、ファスナーを上げる。
	10	<b>おでカフェ着ガール ～気軽におしゃれを楽しもう！～</b> ☆さしすがた☆ 菅田 恵莉香 武田 日菜子 福島 晃帆 吉原 舞 (富山短期大学 福祉学科)		どんな障がいをもっているでもおしゃれを楽しむことができる洋服を作りたいと思った。チュニックの左側を裁断しレースを付け、端にマジックテープを付ける。長袖Tシャツの袖を裁断し、チュニックの肩側にボタンでつける。マジックテープを開け、横からかぶるように着て、上からレースのネックレスをしてオシャレにする。 左脇がマジックテープで開閉でき、気温に合わせて袖も取り外せる。レースのネックレスは腕を吊ることもできる。

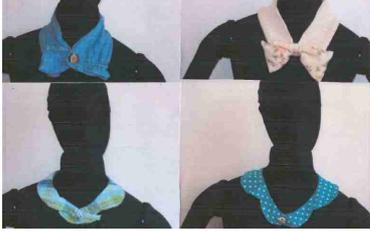
## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	11	<b>ぱっちゃんサルエル</b> チーム石川陣 井澤 紅美 石川 陣 大桃 良菜 米納 優美子 (富山短期大学 福祉学科)		オムツ交換の際に、ズボンを脱がなくても簡単にできるものはないかと思いましたが、ファスナーよりも開け閉めしやすく、皮膚が傷つきにくいマジックテープを使った。マジックテープをズボンの色に合わせて目立たなくした。 オムツ交換の際に、マジックテープを外してオムツ交換をする。
	12	<b>らくらく くつ下さん</b> チーム きときと ぴーち 嶋田 正恵 神代 優子 西崎 貴子 水谷 咲子 (富山短期大学 福祉学科)		足のむくんだ高齢者の方が足の甲、足首がきつくならず、楽に履くことができる靴下を作った。介助する側も簡単に履かせることができる。靴下の甲の部分を開き、伸縮性のある布を縫い付け、リボンで一人ひとりの足のむくみに対応できるようにした。レースをつけてオシャレにし、リボンは邪魔にならない位置につけた。
	13	<b>LOVELY エプロン</b> チビッコ5 坂田 香織 前川 千陽 元起 尚美 山川 よう子 信濃 任成 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		歯みがきや含嗽時、水分補給時に、口元から水分がこぼれて寝衣を濡らしてしまうのを、少しでも手軽なもので解消できないかと思い作った。タオルを半分に折りゴムを通し、下部を折り返して両サイドにマジックテープをつけ、首への圧迫を保護するためゴムには布を巻く。家にあるタオルで簡単に作れて着脱もゴムなのでスムーズにできる。生地もタオルなので肌触りもいい。
	14	<b>食食用エプロン</b> チーム白えびせんべい 池田 麻由子 河合 美佐子 岸谷 有姫 松井 茜 (富山短期大学 福祉学科)		楽しくおしゃれに食事をするために作った。ワンピースの中心部をカットし、カップ生地も襟、脇、腹部に合わせてカットし、縫い合わせてスナップを付けた。ビニール生地の部分は取り外し可能で、汚れてもすぐにきれいにでき、エプロンも洗濯できる。下の生地が透けて見えるため、おしゃれに工夫して着用できる。
	15	<b>まえかけエプロン</b> 老本 美奈子 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		祖父がご飯を食べる時によくこぼしてしまい、こぼしてもすぐかたづけられるようにまえかけを作ろうと思った。 エプロンの首の部分にマジックテープをつけ、止めやすいようにして楽に着る事が出来る。下の部分に吸盤を取りつけ、机に敷く部分が滑り落ちないようにした。食事の時に机に敷いて、茶わんなどがのるようになる。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	16	もうYOUを傷つけない♡ チームBoo3 箕谷 美千代 太田 昌里 三谷 裕太郎 山本 裕子 福田 未歩 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		車いすへ移乗する際、浮腫のある方などが靴を履かなくても傷つくことのないように作った。子供用の腹巻を、フットレストのサイズに合わせて縫い、フットレストにかぶせる。子供用の腹巻を使用することで、肌にもよいものを使った。
	17	スリッパでも安心 アイディア・ウーマンズ 大田 麻菜美 嵐田 智美 高松 真知子 中島 茂政 番 一枝 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		入院生活中はスリッパを履くことが多いが、麻痺や足の力がない方には脱げたり転倒の危険がある。かかとにゴムで引っかける事ができれば安全で歩行もしやすくなるのではないかと考えた。車いすに乗っている時も脱げないので、安全・安楽である。スリッパの挿入口に、ヘアバンドを半分に切って縫い付けて、スリッパの甲部に髪ゴム等で装飾した。
	18	らくらく革靴 4イレブン 石尾 崇矢 平山 絢豊 近岡 大暉 阿部 真悟 (富山短期大学 福祉学科)		靴の着脱に時間がかかる高齢者でも、この「らくらく革靴」なら簡単に履くことができる。靴の側面とゴムバンドの端部にスナップボタンを取り付けて合わせ、ゴムバンドを伸ばして履く。ズボンを履いていると、まるで革靴を履いているように見えてオシャレである。ボタンは玉止めが見えない方法を採用し、バンドは人に合わせて簡単に取替できる。
	19	足浴マント 患者に5 五十嵐 弥寿子 尾崎 結 寺林 美穂 堀 真理子 松本 崇宏 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		シャワー浴のみで湯船に入ることができない方も、足浴で足を温めることで体も温まってほしいと思い作った。足浴バケツに足を入れ、マントをひざ下全体に巻きつける。足部洗浄時はシートを広げて、湯の飛び散りをガードする。老若男女使えるように、マジックテープはアジャストできる位置で長めにとった。また、保温効果を高めるため、内側のアルミ布を二重にし両面テープでとめてある。
	20	袖付きエプロン 濃厚カルピス 金子 未貴 山藤 南美 (富山短期大学 福祉学科)		実習でエプロンの横から手を出して食べている方が食べにくそうに見え、袖付きにしようと考えた。長袖の服の胸から下と背中を真ん中で切り、不織布かテーブルクロスをマジックテープで張り合わせる。後ろははだけないようにボタンをつけた。袖付きにしたことで可動域を広くし腕を動かしやすいとした。袖が汚れても下の衣服が汚れない。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	21	<b>3秒で変身! 可愛い! 付け襟!</b> チーム3 上嶋 佳奈 川村 美沙紀 齊藤 志乃舞 (富山短期大学 福祉学科)		容易に服のイメージを変えようと思い作った。襟の型を取って縫い、ボタンを付けた。 季節に合わせて変える事ができ、普段着ている服に合わせて付けられる。
	22	<b>らくらく はける君</b> チームA 入江 真由美 田村 美里 野村 春美 村上 可南 盛池 由里子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		片麻痺の方が自分の力で靴下をはけるように作った。下敷きをカットしてグリップを通したひもをつける。また、下敷きの片面にストッキングをつけてすべりやすくする。筒状にした靴下をセットして足を入れ、ひもをひっぱり下敷きを抜き取ることで靴下をはく。
	23	<b>寝たきりの 利用者への 靴下装着用具</b> 池端 章浩 (富山短期大学 福祉学科)		寝たきりの方に靴下を履かせようとしたが、爪などが引っかかったり足が硬直していたりつま先が内側に向いていたりして履かせるのが大変だったので、もっと簡単にできる用具はないかと考えた。板を足より少し大きめに切り装具を作り、かかとを載せて装具ごと靴下をかぶせ、紐をひっぱり装具を抜き、足首まで靴下を上げる。靴べらをイメージして作り、足のかかととは浮くように下駄をイメージして作った。
	24	<b>いっぺん楽チャック</b> One G 廣田 三恵子 永田 絵梨 坂東 冬奈 五木田 克大 水野 雅子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		片麻痺の方にジャンパーのファスナーを閉めてほしいと頼まれたことがあり、両開きの一方を固定することができれば、片手でファスナーを閉めやすいと思い作った。首に紐をかけ、スライダー側の衣服をクリップではさみ、反対側の紐を持ちながら、ファスナーを組み合わせる。そしてクリップを外し、スライダーのプルを挟み、紐をゆっくり引きながら、ファスナーを閉める。紐の長さを調節でき、使用場所を選ばず多用途に使用できる。
	25	<b>開いちゃダメよ♡</b> 射水ムズムズ six 中野 千里 嶋 貴子 高田 淳也 三山 ありさ 榊 由貴子 茂原 義範 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		病院の病衣は胸元が乱れやすい。拘縮のある方や片麻痺の方では自身で整える事が難しいケースがあるため、患者さんが羞恥心を感じず生活することができればよいと思い作った。両端のクリップを襟元に装着し、胸元がはだけないように調整して使う。

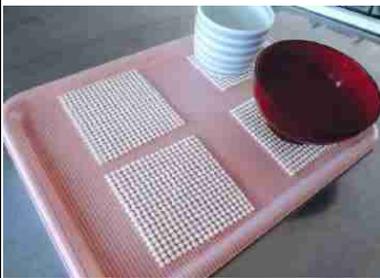
## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	26	<b>止めるんです</b> 野村 美奈 (富山県高志リハビリテー ション病院 看護部)		清拭や更衣・リハビリ中に、胃瘻や経鼻チューブがつっぱって抜けそうになったり、体の下に入り曲がってしまうことがある。そのような時、チューブを固定できれば安全に処置できると思い作成した。 磁石を使用し、シャツを挟んでも固定することができる。
	27	<b>らくらく カットちゃん</b> 高木 恵理 (富山短期大学 福祉学科)		高齢者は腕の力が衰え、トイレトーパーを切る事が大変なので、簡単にできるホルダーを作った。ボトルを切って刃をつけ、スポンジシートを貼って作った。左右どちらにも刃を付けたので、どちらからでも切ることができる。トイレのタイル等に固定したり、横置きにしたりして使う。紙を少し出しておいて、必要な時適量出して使用する。
	28	<b>誰でも使える 簡単くし</b> 細川 葉 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		祖母を見ていると、手を動かすことが大変そうだった。髪の毛をとく時手を上げたりするのを、楽に快適にできるようにした。 くしを100円ショップにあった、物を止める道具にくっつけて、手を上げたりしなくても髪の毛をとける。くしが落ちないように丈夫に大きく作った。
	29	<b>握りやすい 歯ブラシ</b> 殿村 凧月 (富山短期大学 福祉学科)		スプーンや箸には工夫されたものがあるが、歯ブラシの工夫されたものはあまりなく、握力の弱い高齢者にとって持ちやすく握りやすい歯ブラシが必要だと思い作った。①足指パットをヘアゴムで歯ブラシに取りつけたもの②ハンドグリップカバーを本体から抜き、歯ブラシを筒の中に差し込み隙間をクレーンペーパーで埋めたもの③スポンジの中に歯ブラシを差し込んだもの④③にヘアゴムを巻きつけて凹凸を作ったものの4種類を作り、障がいに合わせて使い分けられるように、持ち手にいろいろな素材を使った。
移動 機器	30	<b>風呂用ツエ</b> 山崎 隆良 (富山短期大学 福祉学科)		風呂は滑りやすく、普通の杖はお湯の中に入れることができない。そこで、湯かき棒を使ってお湯の中に入れる事の出来る杖を作った。 持ち手はスポンジにし、輪ゴムとシリコンを使い、滑り止めを作った。

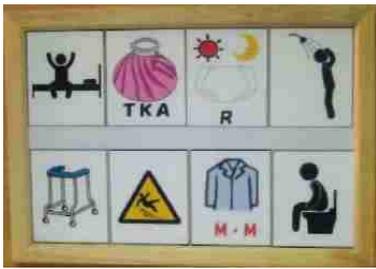
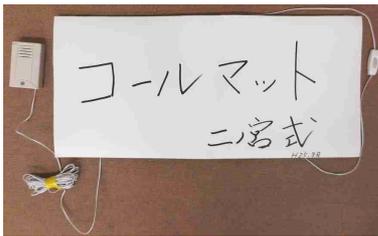
## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	31	杖ヘルパー 二ノ宮 勝則		杖の忘れ防止と杖の置き場を選ばない点を重視して考えた。どこでも使用できるものがあればと思い、市販のものに比べて洗濯バサミの内側にゴムを貼るところ、配線クリップを移動して位置を変えられるところを工夫した。
	32	2本つけ 川岸 雅之 (介護老人保健施設 やすらぎ)		高齢者の歩行時、杖を2本ついて歩くと、姿勢が良くなり安定性と運動効果が格段によくなる。しかし杖を使わない時に杖が倒れやすくなるので、簡単に連結できるようにした。市販のハンガーを洗濯竿に取りつけるバードキャッチの取り付け部分を杖の丸みに合わせて削り、手前の穴に結束バンドを通して取り付けやすい位置に巻いて作った。杖を使わない時にもう1本の杖をリングにはさみ、杖が倒れないところに立てかけたり、挟んだりする。使わない時は上向きにたたみ、しまっておく。
	33	らくらくレバー 若！！ 岩脇 加奈子 高嶋 さとみ 松島 幸久 山本 恭子 上野 葵 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		麻痺のある方が、車いすのブレーキをかけるときに使いにくそうなのを見て思いついた。サランラップの芯に目立つようにカラーフィルムを巻きつけ、片方の穴にスポンジをつける。 身近にあるものですぐ作れる。
	34	ずりおちな〜い 谷 るり子 (新川老人福祉会 地域密着型特養 片貝ヴィーラ)		車いすやイス等に座っていて、おしりが滑り落ちて姿勢が保てなくなることがある。座布団の上に、ずれ防止等に使用するすべり止めシートを乗せ、シートがずれないように四隅を糸で止める。車いすやイス、畳の上等簡単に持ち運びができるような座布団にした。汚れたら洗えるように布製にした。
	35	クールorホットで 体交枕 千谷 正美 (翠十字会ホームヘルパー ステーション)		体温調節ができず発汗が多く辛い思いをしておられる四肢麻痺の方などが、少しでも快適な療養生活を送れたら良いと思い製作。クールで使用する時は中に入れる保冷剤を冷凍庫で凍らせて好みの個数を入れる。ホットで使用する時は保冷剤を湯煎もしくは電子レンジで温めて好みの個数を入れる。体交枕として使用する時は、丸める、畳む等本人の心地よい角度で使用する。保冷材はそば殻を入れた袋ではさむようにし、冷やしすぎたり熱すぎたりしないように工夫した。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	36	<b>傾きませんクッション</b> 岡崎 智恵美 (富山県高志リハビリテーション病院 看護部)		片麻痺の方の座位保持の時、麻痺側に傾くため傾かないようにしたいと考えた。また、正しく座位姿勢を保持することにより誤嚥を防ぎ、体の負担を軽減したいと思った。 クッション上部を腕にフィットさせるよう凹ませた。ソフトな感触で、麻痺側に挟んでも痛みを感じないようにした。
家事用具	37	<b>ストローホルダー</b> PIYOKO5 松谷 正典 西浦 貴子 西川 詩織 浅井 舞 高松 菜穂 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		高齢者の方がストローをくわえやすいようにした。2つの洗濯バサミを結束バンドで固定し、1つの洗濯バサミでストローをはさみ、もう1つの洗濯バサミでお碗やコップをはさみ使用する。
	38	<b>1口ゴックン</b> 村上 竜馬 (富山短期大学 福祉学科)		水を飲む時に手軽に少しずつ飲めるものがあればと思った。ポアラー（30cc用）を空瓶に取り付け、注ぎ口にホースをつけて作った。各部品は洗浄に耐えられる素材とした。水分の入った瓶を傾けると、1回ごとに1口～2口で飲める30ccずつの水分が出る。量が正確に測定でき、水分バランスが明確になるように役立てたい。
	39	<b>クリップ de ストロー</b> 山本 和美 (富山短期大学 福祉学科)		パーキンソン病だった母が夕食時に好きな日本酒を飲むとき、コップにストローを入れて飲んでいたら、ストローが固定されていけば持つ必要がなく、楽なのではないかと思い作った。クリップに、うおのめ保護パッドをつけ、ストローを差し込んで使う。ストローが左右には動くが上下には動かないようにし、麻痺の方も片手で使えるようにした。
家具・建具、建築設備	40	<b>誰でも楽しむ食事おぼん</b> 貫場 美穂 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		ベッドで生活していて食事の時も十分に起き上がれない方のために作った。食事を上から見る事ができず、メニューが見えない方にも食事を楽しんでほしいと思う。 皿が滑りおちないように皿の大きさに合わせた滑り止めマットを置き、空き箱を斜めに切り角度をつけ、お盆を斜めにして固定することで、皿に入った食べ物が落ちず、寝ている人もメニューが見やすい角度になる。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家具・ 建具、 建築設備	41	<b>落ちない枕カバー</b> 清く・正しく・美しい グループ 吉田 真一 水上 里美 萩原 真澄 北野 好美 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		ギャッチアップや体位変換時に、枕の位置がずれず定位置を維持するために作った。ベッドの頭側にカバーを取り付け、輪状になっているところに枕を入れる。布を輪状にすることで、横から枕を出し入れできるように工夫した。どんな厚みのマットレスにも取り付けできる。
	コミュニケー ション 関連用具	42	<b>ADLピクトサイン</b> 阿部 智子 (富山市医師会看護専門 学校 看護学科)	
43		<b>簡易コールマット ニノ宮式</b> ニノ宮 勝則		母がベッド上から起きて事故等が多く発生したのが作成するきっかけとなった。布団1枚でもさわると音が鳴り反応する。どこへでも持っていき使用できる。約700円と安価でできる。
操作用具	44	<b>片手で押せる ポディーソープ</b> シャボン 宮嶋 真奈美 北野 麻恵 白川 采 水口 光 濱多 道子 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		病院や施設の浴室で、片麻痺の方でも使えるポディーソープを考えた。また、2人で1つのポディーソープを使用する際に、片手で押せるものがあったら便利だと思った。 15cm程に切った丸パイプをポディーソープ容器のノズルに差し込み、スポンジを適当な大きさに切りノズルに接着して作った。手掌を上に向け、手背でポンプを押し、出てきたポディーソープを手掌に受ける。
	45	<b>シンプル・カット</b> 目澤 栄知子 (富山市医師会看護専門 学校 看護学科)		脳梗塞後に麻痺が残り、手に力が入らない方が、袋が破りにくく困っているというのを聞いて作った。 ホッチキス外しに、カットしたサランラップ等のギザギザ部分を付け、ギザギザの下に薬の袋を置き、握る部分をつかみ何度か握ると袋に切れ込みが入る。服薬袋、おしぼりの袋、ビニールの梱包袋、紙類等にも切れ込み可能。 小さくて使用しない時はキャップをしているので、気軽にバッグに入れて持ち運べる。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
操作用具	46	<b>片手でキレイ</b> 宮本 鷹二 (富山短期大学 福祉学科)		片麻痺の方は、食器を洗う事、髪を洗うことが困難であるため、少しでも簡単にできる方法はないかと思い作った。シャンプー容器にチューブを差し込み、使う方に合わせてチューブを曲げ、輪ゴムを結ぶ。ゴムの長さ、本数を変えることで高さの調節ができ、先端が手掌になり、くぼみに液が落ちるように位置を決定する。
	47	<b>にぎルン♪</b> ゆかいな仲間たち 笠木 栄太郎 和田 麻衣 谷内 陽子 膳亀 教子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		スプーン、歯ブラシ、フォーク、ペンなどを持ちやすくして患者さんの自立を促すために作った。発泡ポリエチレンをカッターで削り、滑り止めを接着剤で張り付ける。差し込むもの（スプーン、ペンなど）により隙間を調整する。より握りやすいように、握る部分をリンゴの芯のような形に削った。
	48	<b>便利ベルト</b> 遠藤 若菜 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		物を握る力が弱い方や指を曲げる事が出来ない方のために、握らなくてもいいようにできればよいと思った。 ファッションベルトを切って片方の端にDカンをつけ、マジックテープを付けて布を縫い付け、歯ブラシやスプーン、フォークなどを入れる。 どんな人の手のサイズにも合うようにマジックテープで調節できるようにした。握る力が弱くても、楽に動作できる。
レクリエーション用具	49	<b>さわっておぼえよう</b> 田澤 朋 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		それぞれの形の名前の点字を積み木に貼り、遊びながら触って形の名前を覚える。 形を覚えるだけでなく、普通に積み木で遊ぶこともできる。
その他	50	<b>私の部屋は、ここよ!!</b> 新川老人福祉会 地域密着型特養 片貝ヴィーラ		認知症のため自分の居室がわからなくなる。また歩くことができず床をいざっている事が多く他の入居者の居室によく入っていく。また排泄は居室内のポータルトイレにする事が多く、目隠しの中になる物が欲しかった。 在宅時によく見慣れた着物を家から持ってきてもらい、のれん（目隠し）として活用した。目が見えにくいこともあり、色をできるだけ鮮やかでわかりやすくした。いざって移動するため、目線が低くてもわかるように目線の高さまで長くした。人も出入りしやすいように3本切れ目を入れた。

## 作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
その他	51	<b>まとめてBOX</b> 5グループ SUPER5 荒 正人 谷 享代 原 里佳 三島 翼 山本 純子 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		食堂に移動するとき食事に必要な物品（エプロン・箸・はみがき）を忘れてしまうことがあるので、エプロンやハブラシ等を入れる場所、薬入れポケット、ティッシュケースをつけた1つのボックスにまとめた。 ハンガーフックにより、車いすにも掛けることができる。
	52	<b>どこでもティッシュ</b> チーム海王丸 稲垣 高鋭 高田 知宏 中島 里恵 石田 裕美 田上 梨加 菅野 真弓 (富山市医師会看護専門 学校 准看護学科)		ポケットティッシュケースにマジックテープのついた紐をボンドでつけて作った。マジックテープが付いているので、車いすのアームレストや歩行器につけたり、杖を使う方や独歩ができる方は、腕につけたりする。 車いすや歩行器、患者さんの腕などに取りつけられるようにし、さまざまな場面で使用可能。また、長さの調節も可能。
	53	<b>おしえて!! カレンダー</b> 渡辺 恭子 (県立富山いずみ高等学校 総合学科)		おじいちゃんの物忘れがひどく、何をするかおばあちゃんに聞くことが多くなったので、手に取って見る、という事で少しでも役に立てばよいと思った。 ラミネートフィルムに予定を書いて入れるので、手で取って確認でき、同じ日の予定でも大事な物には決まった色のシールを張ることで優先度がすぐにわかる。1週間の自分の予定をカレンダーの中に書いて入れるだけで、一目で何をやるのかがわかる。

## 製品開発部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	1	<b>杖のつえ</b> イズミ株式会社		杖の先端部に、杖を自立させる目的で取り付け。工具は不要で、杖の先端部を挟み込み、ねじを手で回すことで固定する。 杖から手を離して倒れないようにする事ができるので、壁などの立てかける場所がなくても良い。自分が使い慣れた杖に簡単に取り付けでき、専用の杖を用意する必要はない。杖を自立させる機能を持ちながら、凸凹した床面でも使えるところが、一般の多脚型杖とは違って便利。 片マヒやゆっくり歩く方のリハビリ時に有用である。

# 平成25年度福祉用具・アイデアコンクール実施要綱

## 1. 趣 旨

「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、高齢者や障害者の生活の自立支援と介護者の負担の軽減を図り、人々の生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアや作品・製品を広く募集し、優れた応募作品を表彰します。

本コンクールは、人々の暮らしをより向上させる福祉用具への関心を高めるとともに、利用者ニーズを発掘し、県内の優れた産業技術との融合による富山県産福祉機器の開発を目指すことも目的としております。

## 2. 募集内容等

### (1) 応募資格

県内在住・在勤の個人またはグループ及び県内企業（県内に本社が在する企業に限る）

### (2) 募集内容

#### ①アイデア部門（個人またはグループ）

生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデア。市販製品やリサイクル品を一部改良し利用するアイデアを含みます。

#### ②作品部門（個人またはグループ）

生活を豊かで快適にする手作り福祉用具。独自に考案した介護用品、市販製品の一部改良やリサイクル品への工夫を含みます。

#### ③製品開発部門（企業）

福祉用具等に関する独自の開発製品。市販製品、試作品を問いません。  
ユニバーサルデザイン、共用品等の福祉関係製品についても自立支援や介護負担の軽減に寄与するものは対象とします。

※①と②については未発表の作品に限ります。また、非衛生的なもの、壊れやすいものや危険なもの等は全ての部門で募集の対象外とします。

### (3) 応募受付期間

平成25年8月1日(木)～9月6日(金)

### (4) 応募方法

各部門で必要な書類等をそろえ、応募期間内に各部門の応募先へ郵送または、直接提出してください。

[提出書類等]

①アイデア部門・・・・・・応募用紙(様式1)

②作品部門・・・・・・応募用紙(様式2)、作品（製作した実物を提出して下さい）

③製品開発部門・・・・・・応募用紙(様式3)、製品のパンフレット、仕様書等

※製品本体の搬入については別途連絡します。

※ご応募いただいたアイデア及び作品については作品集に掲載しますので、以下のことにご協力願います。

【①について】

・応募用紙に記載する図やイラストは、できる限り単純・明瞭に、黒マジックやBの鉛筆を使用する等、濃く記入して下さい。

【②、③について】

・応募用紙に貼付する写真は、鮮明ではっきりわかる写真を添付してください。  
・使用方法等をまとめた電子媒体やビデオ等があれば、一緒に提出されても構いません。  
提出いただいた電子媒体・ビデオ等は、作品と共に返却します。

### 3. 審査・表彰等

#### (1) 審査

学術関係者、福祉関係者等により構成される審査会において審査します。

- ① アイディア部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞
- ② 作品部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞
- ③ 製品開発部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞

#### (2) 表彰

平成25年11月1日(金)の表彰式において各部門の入賞者を表彰します。

また、①と②の個人またはグループに参加賞(受賞者除く)をお渡しします。

#### (3) 作品展示

表彰式終了後2週間程、富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階のモデルルームにて展示します。

#### (4) 応募作品の取扱

展示終了後、返却します。(返却期間については後日連絡します。)

#### (5) 実用新案・特許等について

コンクールでは発表及び展示をしますので、出願をお考えの方は、事前に実用新案及び特許等の手続きを済ませておいてください。

#### (6) 搬入・搬出について

書類及び作品(製品)の送付、搬入・搬出にかかる経費は応募者の負担になります。

また、作品(製品)の送付、搬入出時のやむを得ない事情等により破損した場合の補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

### 4. 主 催

富山県

富山県福祉機器開発推進会議

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター

### 5. 後 援

一般社団法人 富山県介護支援専門員協会／一般社団法人 富山県介護福祉士会

公益社団法人 富山県看護協会／一般社団法人 富山県作業療法士会

一般社団法人 富山県身体障害者福祉協会／富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会

富山県ホームヘルパー協議会／一般社団法人 富山県理学療法士会

富山県老人福祉施設協議会

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 東海北陸支部 富山県ブロック

#### 応募先及び問い合わせ先

##### ① アイディア部門 ② 作品部門について

富山県介護実習・普及センター「福祉用具・アイディアコンクール」係

〒930-0094 富山市安住町5番21号

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階

Tel.076-432-6305 Fax.076-432-6307

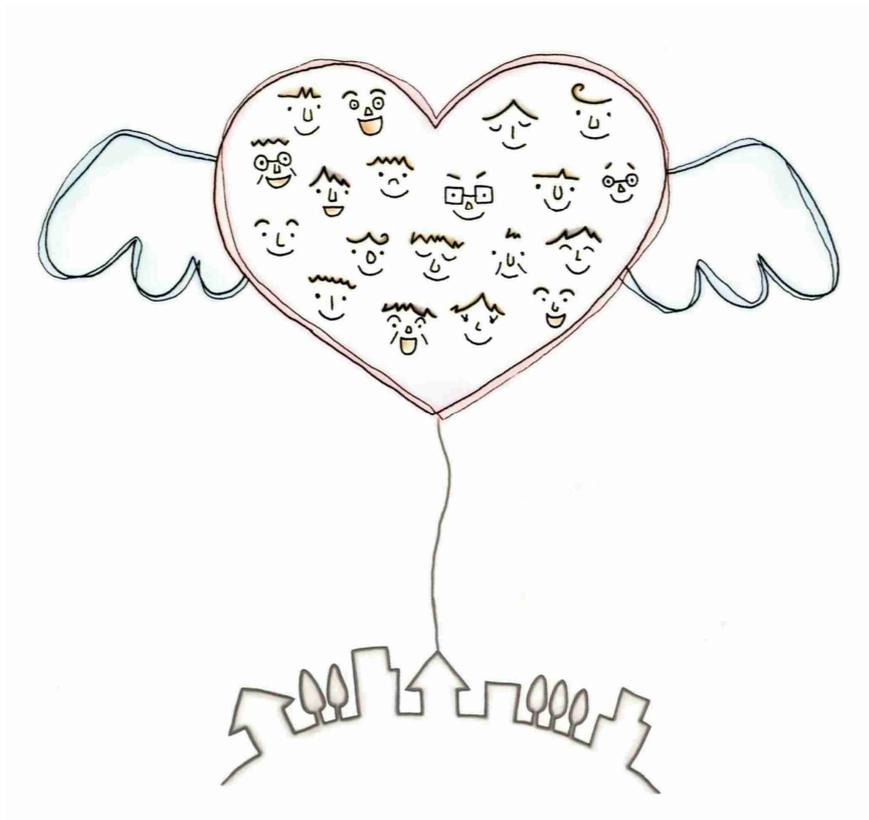
##### ③ 製品開発部門について

富山県福祉機器開発推進会議事務局

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

富山県厚生部厚生企画課内

Tel.076-444-3197 Fax.076-444-3491



社会福祉法人 富山県社会福祉協議会  
富山県福祉カレッジ  
**富山県介護実習・普及センター**

〒930-0094 富山市安住町5-21

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階

TEL. 076-432-6305 FAX. 076-432-6307

ホームページ <http://www.toyama-shakyo.or.jp/hukyu/index.html>